

おおぞら 議会だより

CONTENTS

6月定例会を開催	2
議員5名が一般質問	4
① 川村議員 認定こども園の利用条件緩和についてほか	
② 鈴木議員 民間活力を生かした行政運営についてほか	
③ 福田議員 寄附金の対応と使途について	
④ 上地議員 こども基本法の取り組みについて	
⑤ 後藤議員 アドベンチャートラベルについて	
議員研修会に参加・視察調査を実施	11
所管事務調査を実施	12


No.69
OZORA
GIKAI DAYORI

[発行日]

令和5年(2023年)8月31日

大空に
人花心
育むまち



SUP (スタンドアップパドルボード)



ドラゴンボート体験

7月29・30日の両日に「めまんべつ観光夏まつり」が4年振りに開催され、水上花火大会やドラゴンボート、SUP体験などで大変盛り上がりました。

令和5年
6月定例会
6月19日～20日

令和5年度一般会計予算は
3,519万円を減額補正し、
総額92億2,222万円に

大空町議会6月定例会は、令和5年度一般会計などの補正予算議案、人事案件、条例改正議案、工事請負契約の締結、議会側議案などを審議しました。

繰越明許費繰越計算書の報告
除雪機械整備事業など3事業が年度内に完了しないため、6,748万8,000円を令和5年度へ繰り越した報告がありました。



役場庁舎大規模改修事業

継続費繰越計算書の報告
役場庁舎大規模改修事業について、令和4年度の残額116万5,000円を令和5年度へ繰り越した報告がありました。

- 令和5年度補正予算（歳出）の主な内訳
- ◆電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金〔2,340万円〕
 - ◆接種円滑化委託料〔781万円〕
 - ◆河川改修工事〔986万円〕
 - ◆女満別小学校・中学校 教材備品〔420万円〕
 - ◆研修会館改修工事〔332万円〕
 - ◆社会教育施設整備基本構想策定委託料〔440万円〕
 - ◆職員退職手当組合負担金〔△3,268万円〕

例月出納検査報告
2月から4月までの現金の出納状況および基金の状況について、検査結果の報告がありました。

法人の経営状況報告
めまんべつ産業開発公社、東藻琴芝桜公園管理公社の経営状況について報告がありました。

4月臨時会

令和4年度一般会計予算は、3,526万円を増額補正し、総額91億5,400万円

4月27日に開催した第1回臨時会では、条例改正、補正予算、物品の購入などを審議しました。



購入予定（同型）の除雪トラック

物品の購入
除雪トラック1台を購入することについて、可決しました。

補正予算
令和4年度一般会計・令和5年度一般会計の補正予算について審議し、可決しました。

条例の一部改正
大空町条例・大空町国民健康保険条例の2条例の一部改正について承認しました。

議会の傍聴はお気軽に!

- ◆定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれます。また、臨時町議会は必要に応じて随時開かれますので、お気軽に傍聴においでください。
- ◆詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

9月定例会は、
9月12日(火)から
開かれる予定です。



大空町議会傍聴規則の一部改正

大空町議会傍聴規則について、今まで事例などはありませんでしたが傍聴席に入ることができない者の規定の中にありました「児童及び乳幼児は、傍聴席にはいることができない。ただし、議長の許可を得た場合は、この限りでない。」という項目を削除しました。お子様連れの方も傍聴することが出来ますので、ぜひお気軽に議会の傍聴にお越しください。

女満別小中学校・東藻琴小中学校
エアコン取付工事の契約締結を可決

人事案件

農業委員会委員の任期（3年間）が、令和5年7月19日で満了するため、24人の任命について、同意しました。

物品の購入

スクールバス（中型バス）1台を購入することについて、可決しました。

工事請負契約

女満別小中学校エアコン取付工事、東藻琴小中学校エアコン取付工事の契約締結について、可決しました。

条例の一部改正・廃止

大空町国民健康保険税条例など2条例の一部改正、大空町衛星ブロードバンド整備事業分担金条例の廃止について、可決

しました。

補正予算

令和5年度一般会計のほか、4特別会計の補正予算について審議し、可決しました。

湖畔管理事業

三條議員
湖畔園地の枯れ木は毎年のように出ているが、今後枯れ木が出た時にすぐに対応できるようにするべきではないか。

問

湖岸課長
湖畔園地について、国定公園に指定されておられ、伐採については振興局との協議が必要となる。危険木の点検については、担当課で実施している。

産業課長

本年4月に神奈川県のカンパ場で倒木によって死亡事故があったことを受け、振興局と共に現



女満別湖畔園地

地確認を行い、大きな危険木の伐採の了解を得たということで、今回補正予算を計上している。本格的な観光シーズンに入る前に早急に対応していきたい。

女満別小学校・女満別中学校 教材費

鈴木議員
寄付があり教材備品の購入となつているが、内容等が決まっているのか伺う。

生涯学習

女満別小学校・女満別中学校の楽器の更新にと寄付をいただいている。小学校・中学校と協議し、更新する楽器を決定した。

女満別小学校については、ハーモニカ、ディレクター、コンサートバスドラム、コンサートスネアドラム、低音オルガン、ティンパニーを購入予定。女満別中学校については、クラリネット、フルート、チューバ、バリトンサクソフォン、テナリサクソフォンを購入予定。楽器については、補助金がないため、年次的に更新の計画をしていたがこの度の寄付を受け、前倒しで購入する。

大空町議会傍聴規則の一部改正

大空町議会傍聴規則の一部改正について可決しました。

大空高等学校交流拠点施設（寄宿舍）の今後の方向性について

大空高等学校交流拠点施設の寮生受入について

教育長 ▶ 早い段階で方向性を示したい

問 令和6年度の入寮に係る生徒受け入れについて、令和6年度の入学希望者の募集説明会が今月から始まっており、8月にはオープンキャンパスも予定されていますが、現在の3年生の

教育長 大空高等学校交流拠点施設は、生徒の寮としての側面もあわせ持っており、食事、寝床を用意する生活寮としてではなく、生活の中においてリーダーシップやコミュニケーション能力、協調性、異文化理解力を育む、教育寮として大空高校の魅力の柱であることに間違いなく認識しております。

問 高校魅力化とはその地域、学校でなければ学べない独自のプログラム、公営塾の設置、教育寮を通じた人材育成の3本柱で成り立っています。交流拠点施設は大きな役割を担っている施設であると認識していますが、町として交流拠点施設についてどのように捉えているのか伺う。

教育長 入寮生は男女合わせて8名、この生徒たちが卒業後に交流拠点施設に入寮できる1年生は、現在も定員に達していることから必然と8名となると思われまます。令和5年度入寮生が18名、さらに来年度からは受け入れる町外枠の募集定員を30%から50%に拡大する中で、実績から考えても町外からの入学希望者が増えることが予想されており、交流拠点施設では対応できないのではないのではないかと考えられます。ふれあいトークでもそういった心配される町民の声に対し、町としては旧東藻琴高校寮の活用を予定しているという回答をしていました。現時点での来年度に向けての対応についてお考えを伺う。

教育長 令和6年度の入寮にかかる生徒の受け入れについては、交流拠点施設内の寮は定員40名となっており、現在の交流拠点施設では受け入れが十分にできないことも想定されます。不足となる居室の確保として考え

教育長 個性豊かな生徒の通学することは、地域をテーマにして探求する学習を通して地元の高校生や地域住民が今までの生活になかった人材と出会い、学び合うことで子どもたちが、地域に出ていくということ、皆様に託すことも、新たな価値感を得ることは大きな期待を持っております。

問 寮というのは各学年が横断的に生活することで、模範となる先輩と交流、対話を通じて人格教育も大切な要素となっていると思っております。交流拠点施設を最大限活用するためにさまざまな視点から、今後の寮の進め方を検討し、早い段階で受け入れ体制の方向性を示す必要があると思っております。

られる現実的な手法として、旧緑友寮の活用を考えておりますがコスト面や運用面を考慮した中でほかの方法も模索し、早い段階で方向性を示したいと考えております。

今後の寮の進め方につきましては、各方面からのご意見を参考とし、魅力ある大空高校となるよう取り組みを進めていき早い段階で皆様方へ提供したいと考えております。



大空高等学校交流拠点施設

認定こども園の利用条件緩和について

川村 淳 議員



川村議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(32分17秒から)

コロナが5類へと移行となり世の中が一気に通常モードへ。学校行事や部活動も通常となりこんなに忙しかったのかと少しついていけない自分があります。「子育て世代にとって住み良い町づくりと一緒に考えたい」

こども園利用に係る条件緩和について

町長 ▶ 国の動きに対して町としても柔軟に対応する

問 政府は少子化対策案として、親が就労しているかに関わらず保育所を利用できる制度を創設する方向で調整に入ったとの報道が3月23日にありました。その内容は、これまで保育所を利用するにあたり、両親が一定の時間以上就労している等の「保育の必要性」というものが認定される必要性がありました。が、これを緩和し全ての子育て家庭が利用できる制度とするというものです。本町においては、特に農家世帯の冬季間の保育について、仕事がなくならずと預かりの保育が出来なくなるといふことが生じており是非改善して欲しいとの声が多く届いております。認定こども園における子育て支援策として、これからの条件等の緩和について考えを伺う。

町長 国の定める基準に沿って保育の必要性の認定基準を定めており、基準に合致した保護者のお子さんが、満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前の子どもは2号認定。満3歳未満の保育の必要性の認定を受けた子どもにつきまは、3号認定の利用区分として保育を受けています。認定条件の一つとして、就労時間が1カ月当たり48時間以上という基準がありますので、農家の世帯においては、11月以降の農閑期になると利用できないことがあります。国の動きとしては、すべての子育て家庭が親の就労状況を問わず保育所を利用できる制度を創設すると表明いたしました。この制度は仮称「こどもだれでも通園制度」とされており、これにつきましては大空町としての対

問 保育所の雇用に関する課題については、世間では保育士不足が大きな課題となっており、本町においても短期契約での臨時雇用の職員が多いのではないかと懸念しております。保育要件を緩和した場合、保育士不足の課題も同時に発生してくるものと考えています。保育士の人材確保には苦勞していると思いますが、町では保育士確保についてどの様に考えているのかを伺う。

町長 保育士の雇用に関する課題については、現在の状況において、保育ニーズに合わせるための保育教諭が十分に確保できていない状況にあります。少子化の影響から園児数は年々減少傾向であるため、職員、保育教諭を容易に増やせないというジレンマを抱えながら経営されているものと認識しております。こどもだれでも通園制度創設に伴い、今以上に保育教諭の確保が難しくなっていくことも想定され、大空町では社会福祉協議会と連携協力して、来年度の保育教諭の採用に向けて求人活動を行っていくことに加え、新たな情報収集をしつつ、引き続き人材の確保に努めてまいります。



認定こども園ひがしもことの運動会の様子

創設されるという情報でございまして引き続き必要な情報収集をし、今後示される保育教諭の配置要件などを踏まえて、令和6年度に策定予定の令和7年度から11年度までの5カ年の第3期子ども子育て支援事業計画において検討して参りたいと考えております。また、保育教諭の確保につきましては新たな制度内容を踏まえながら、社会福祉協議会及び認定こども園とも、十分に情報共有し連携して取り組んでまいります。

「だれでも楽しく部活動ができる環境づくり」 中学校部活動の地域移行について

地域特性を考慮した部活動振興策を

教育長 ▶ 国の動向を注視し、積極的に情報収集に取り組み対応する

教育長 本町の中学校部活動状況は、生徒数は少子化で減少傾向ですが、生徒の加入率は常に85%から90%で推移しており、地域住民並びに保護者の部活動への期待は高

問 コロナ禍の中で、部活動が思いどおりできなかった子供たちがやっと活発に活動が出来るようになった今日、現場の要望把握を優先して移行準備を進めてはどうか。

教育長 学校の部活動は、学校生活における自主的で多様な学びの場としての意義を果たしています。部活動の地域移行は、生徒の豊かなスポーツ、文化、芸術活動を実現するために、活動環境を持続可能なものにするために取り組む必要があると考えますが、休日の部活動も含めて現在検討段階です。

問 休日の中学校部活動の地域移行に関する検討状況を伺う。

教育長 市町村は国のガイドライン及び北海道の推進計画を参考に、取り組みごととされており、

問 地域移行を進めるための地域スポーツ、文化芸術環境整備等推進計画の検討は、どのように進められるのか伺う。

地域移行の取り組みには、まずは地域における現状を把握した上で、指導者の負担軽減、保護者への支援といった観点も含め、地域の子供たちは地域で育てるという意識のもと、地域のスポーツ、文化資源を最大限活用しながら、子供たちのみならず、住民とともに多様な豊かな活動ができるよう最善の施策を検討します。

現在、生徒数の減少傾向により各競技団体が必要とする規定人数に達しない状況が発生し、近隣中学校と合同でチームを組み、土日の練習や大会に参加している状況もあります。

また情報収集の段階です。地域のスポーツ・文化団体、学校、保護者等からの意見把握や子供たちにアンケートを実施し検討を進めます。

問 指導者の確保、審判員の養成等、資格取得に関する助成制度の充実、地域のスポーツ文化団体との連携協力を進める学校教育と社会教育の連携が重要と思うが、

教育長 昨年からの生涯学習リーダーバンクへの登録を呼びかけ地域の人材発掘確保に努めています。今後も審判員や指導員の確保充実を図ります。

スポーツ協会やスポーツ少年団等への情報提供に努めています。各団体では、少子高齢化の影響等で会員数の減少や指導者の高齢化が課題となっており、各団体の現状と意見を踏まえ、将来的な地域移行の受け皿に関する議論は、慎重に進める必要があると認識しています。



部活動に取り組む東藻琴中学校の生徒たち



一口メモ **中学校部活動の地域移行とは**
「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下で、公立中学校の部活動の指導や活動の場を地域のスポーツクラブ・文化クラブなどに移行すること。スポーツ庁と文化庁は、学校における働き方改革等の観点を含め、令和5年から7年度までを改革推進期間と位置付け「休日における部活動の地域移行」を地域の実情に応じて段階的に進めるガイドラインを示しました。



民間活力を生かした行政運営について

鈴木 秀之 議員



鈴木議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(0分58秒から)

この町の状況を確認して、課題解決に向けて町民相互に特技や知恵、経験や工夫を出し合う環境づくりを考えていきたいと思ひます。

包括連携協定を結ぶ効果と今後の活用について

町長 ▶ 本町を取り巻く諸課題対応 地域の活性化に寄与している等に反映

問 大空町における包括連携協定の締結状況と連携事業運営とそ

町長 包括連携協定は、社会が直面するさまざまな課題に対応する協働の取り組みの一つです。行政は企業等自治体経営のパートナーとして、一方、企業等にとっては、社会的責任、新たな社会的価値を生み出すソーシャルビジネスの活動として位置づけられています。本町における民間企業等との協定は45件。多くは災害協定として災害が発生した際の避難者の支援、物資の供給、情報の提供等です。その内、包括連携協定は現在7件です。

問 各包括連携協定による事業成果の町民への周知・情報提供について伺う。

町長 周知等については、協定締結後、議会での行政報告、町広報などを通じて説明報告しています。さらには新聞報道等で取り上げられた取り組みもあります。

今後は、どのような協定内容で、どのような企業等と包括連携協定の締結を行い、どのような活用

動を行ってきたのかという点を改めて大空町の広報やホームページ等に掲載し、情報提供に努めていきます。

問 連携先決定に際して行政運営の公正透明性等の確保対策が必要と思ひます。どのような基準や観点から締結されているのか伺う。

町長 連携先決定の基準は、今現在ありませんが、当然公明性に反した協定はないと認識しています。

透明性の確保については、包括連携協定にどういった検討を経て至ったかの説明を議会の所管委員会等で報告していくことは可能と思ひています。

広報やホームページ等でお知らせする中に、検討経過や町としてのメリ

ット、事業主のメリット等もあわせて示し対応していきたいと思ひます。

問 締結中の協定に基づく、事業実施の展望と今後新たな包括連携協定を活用し、施策の充実を進めるよう検討している分野があるのか伺う。

町長 現在締結している包括連携協定に基づき取り組みを継続し、かつ可能であれば進化、その取り組みを深めてい

締結年度	協定締結先企業・団体	主な提携事業内容
平成28年	東京農業大学 生物産業学部	農産物の有効成分を活用した新たな機能性食品の開発に向けた調査。地域産物を生かした商品開発、地域の担い手の確保や人材育成、まちづくりといった観点から施設の有効利用を検討
令和元年	株式会社モンベル	網走湖や藻琴山、大空町の魅力発信に向けた取り組みを通じ、地域の活性化を図ることを目的に、地域の素材を生かした新たな事業として、自然やアウトドア活動を組み合わせた体験型のイベントを開催
	網走信用金庫	地域経済やまちづくりの活性化に資する事業
令和2年	網走刑務所	網走刑務所の資源の活用による地域活性化に関する事業
令和3年	株式会社北海道エアシステム	大空高等学校の生徒を対象にふるさと教育チャーター事業として、女満別空港発着のオホーツク上空飛行体験の実施と航空に関するお仕事講座を開催
令和4年	株式会社AIR DO	空港利用促進事業企画、オホーツクエリアの産業や観光の振興、関係人口の創出事業のコーディネート
令和5年	株式会社L I A (FMあばしり)	町の魅力発信事業に関する事業 災害発生時の緊急情報放送協力

大空町の包括連携協定先

くことを考えています。民間活力を活かし町の魅力の創設や地域の活性化、町民サービスの向上等につながるのが包括連携協定であると思ひます。包括連携協定が本町の目指すまちづくり、持続可能なまちづくりに、大きな力になると認識しております。

新たな包括連携協定の締結については、情報収集に努め、民間活力をまちづくりに生かすため積極的に今後も取り組んでいきます。



こども基本法の取組みについて

上地 史隆 議員



上地議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(16分24秒から)

将来の担い手の育成は、行政、議会、様々な産業や団体の課題でもあります。未来を担うこどもたちの声を政策に反映できるように頑張っています。



寄附金の対応と用途について

福田 淳一 議員



福田議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(17分14秒から)

一般質問難しいです！何を言えば届くのか？どう話せばよいのか？一言一言の言葉の大切さ、難しさを痛感しています。毎回される方はすごい！

寄附者の意向が見えるまちづくりを目指して

町長▶想いを受け止め町政に反映していきたい

寄附金は、寄附者の意向や想いに沿って年度内事業化されていると思うが、事業化の予定がない事業等への寄附金の対応と用途について伺う。
また、当面の事業化のない事業への寄附金や金額が満たなく、単年度での実施が厳しい場合や、経年劣化し修繕が必要な場合等、寄附者の意向に沿えるよう町の規定など見直す考えはないか伺う。

町長 ふるさと納税は、税の使途を自らの意思で決めることを可能とする趣旨として創設された制度で、大空町では、高齢者が健康で生き生きと暮らす事業、未来を担う子どもたちを育む事業、魅力ある観光地づくりに関する事業、特に指定しないという項目から選択が可能であり、

これら以外に希望される分野や事業等がある場合、その他の項目に具体的な分野等を記載していただいております。寄附者の方々が使途を町が示す項目から選択された場合、ご意向に沿って活用させていただきます。その他の項目で事業化の予定のない事業等へのご寄附を希望された方の想い、意向を改めて聞き取ることになると思います。寄附者の方のご意向に沿うことができる使途がある場合には、ご寄附を頂くこととなり、希望に沿うことができない場合はお断りすることもあります。現段階で町の規定の改正は考えておりません。

総務課 令和4年度のふるさと応援寄附金は、計6,585件、1億4,461万8,000円のご寄附をいただいております。

町長 事業化の予定がない状況で現金の寄附をお断りしたことがあるかは、調べてみないとわかりませんが、寄附には現金の他に、個人が所有する土地等も含まれています。

町長 建物等の寄附について、修繕が必要とな部分、寄附を受けるときに年数が経っている部分もあり、必要な修繕について、予算の状況等を鑑みながら優先度をつけ実施したい。

こどもの声を政策に反映しているか

町長▶反映できる仕組みを検討してまいりたい

町長 令和5年4月1日、こども家庭庁の創設と同時に、こども基本法が施行されました。市町村は国のこども大綱と都道府県こども計画を勘案し、それぞれこども計画を定めるよう努めるものがあるが、今後策定する考えはあるのか伺う。

町長 市町村こども計画の策定というものは努力義務として規定されました。本町では、既存の子ども・子育て支援事業計画が令和6年度に策定予定であることから、策定作業の中で、こども計画の策定について検討したい。

町長 市町村は医療・保健・福祉・教育・療養等の関係機関相互の有機的な連携の確保に努めるよう規定され、その手段として協議会を組織することができるとされています。なお、個別法に基づき設置されている既存の協議会を活用することも規定されており、本町においては、子ども子育て支援に関する学識経験者、従事者、保護者、公募の町民からなる、子ども子育て会議の活用を検討したい。

町長 市町村は医療・保健・福祉・教育・療養等の関係機関相互の有機的な連携の確保に努めるよう規定され、その手段として協議会を組織することができるとされています。なお、個別法に基づき設置されている既存の協議会を活用することも規定されており、本町においては、子ども子育て支援に関する学識経験者、従事者、保護者、公募の町民からなる、子ども子育て会議の活用を検討したい。

町長 子どもの施策の策定、実施、評価をする

町長 子どもの施策の策定、実施、評価をする

町長 子どもの施策の策定、実施、評価をする

町長 子どもの施策の策定、実施、評価をする



女満別少年消防クラブの子どもたち

議員研修会に参加しました

7月4日、札幌コンベンションセンターにて北海道町村議会議員研修会が開催されました。
 ひょうご震災記念21世紀研究機構 理事長 五百旗頭 真 氏による「ウクライナ危機後の世界と日本」、政治ジャーナリストの 田崎 史郎 氏による「日本政治の舞台裏」を演目とした講演があり、議員全員が参加し、受講しました。



7月25日、釧路プリンスホテルにて町村議会新任議員研修会が開催されました。
 元全国都道府県議会議長会事務局次長 鷗 沼 信二 氏による「地方議会（議員）の制度と運営に関する基礎的事項について」を演目とした講演があり、議員6名が参加し、受講しました。



視察調査を実施しました

議会運営委員会の小委員会として4月に設置しましたタブレット端末等導入検討小委員会（座長 齋藤 副議長、委員5名）では、6月9日に「タブレット端末等の導入について」をテーマに、斜里町議会、美幌町議会の取組みについて視察調査を実施しました。
 タブレット端末等を既に導入活用されている斜里町議会、美幌町議会の事例を参考にさせていただき、議会改革の一環として、今後タブレット端末等の導入や議会資料のペーパーレス化を検討していきます。



斜里町議会議場にて



美幌町議会よりタブレット端末操作説明

稲城市議会会派「稲志会」来町されました

大空町の姉妹都市東京都稲城市議会より稲志会（川村代表）6名が来町され、オホーツクビーンズファクトリー、道の駅メルヘンの丘めまんべつ、大空高等学校交流拠点施設、道の駅ノンキールランドひがしもことなど町内の公共施設を視察されました。



アドベンチャートラベルについて



後藤 忍 議員
 後藤議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(45分55秒から)

周辺への高規格道延伸が予定されていますが、オホーツク観光の中心地としてのまちづくりが必要だと考えます。

今後の観光施策の一つとしてアドベンチャー トラベルが位置づけられると考えるが？

町長 ▼大空町の自然資源、網走湖や藻琴山を活用した四季を通じた体験型観光の誘客を図っていく

問 現在までの観光振興の状況と課題について伺う。

町長 従来からの観光は、その場で観光客が来るのを待ち一つのアクティビティを案内するスポット型観光でしたが、これからの新しい形として地域を横断し、自然や農村景観、食、温泉、宿泊そしてアクティビティをトータルで感じてもらえる形態へと変化させていく必要があると考えています。

問 2024年開通予定の屈斜路カルデラ外輪山トレイルルートは、アドベンチャートラベルの中心的な事業になると思いますが、ルートの内容を詳しく教えてください。

町長 つきましては、現在、環境省等と調整をしながら、ルートが草刈り等を進めまして、まだ完全な通路造成はされていませんが、大空、美幌、津別の三町の観光協会で行っている美幌地区三町広域観光協議会で取り組みを進めています。

問 オホーツクの空の玄関口である女満別空港を抱えている優位性を意識した今後の取り組みについて町はどのような考えか伺う。

町長 本年5月10日オホーツク大空町観光協会をはじめ、さまざまな立場の方で構成した大空町体験型観光誘客促進実行委員会を立ち上げ、大空町の自然資源、網走湖や藻琴山を活用した四季を通じた体験型観光の誘客を図っていく新たな動きが始まったところで、私も行政の役割は地域にある素材を有機的な連携のもと、新たな観光資源と変えていく仕組みづくり、地域への経済発展強化、波及効果の仕組みをつくり出していくことが重要ではないかと考えています。空港からそれぞれのファイルドまでアクセスが近接している本町の地の利を生かし、網走湖でのスタンダードアップパドルボート体験や冬季間のアイスフィッシング、結氷した網走

町長 観光振興については第2期総合戦略大空町観光振興計画に基づき、四季を通じた体験型観光メニューや各種イベントなどを展開し、観光協会をはじめとした関係団体と連携して情報発信も行っていきますが、女満別空港を有しながらも世界遺産知床や阿寒国立公園などへの通過地点としての位置づけから大空町は否めない状況になっており、いかに大空町に滞在、滞留していただくことができるかということが課題です。

町長 従来の観光は、その場で観光客が来るのを待ち一つのアクティビティを案内するスポット型観光でしたが、これからの新しい形として地域を横断し、自然や農村景観、食、温泉、宿泊そしてアクティビティをトータルで感じてもらえる形態へと変化させていく必要があると考えています。

町長 トレイルルートにつきましては、現在、環境省等と調整をしながら、ルートが草刈り等を進めまして、まだ完全な通路造成はされていませんが、大空、美幌、津別の三町の観光協会で行っている美幌地区三町広域観光協議会で取り組みを進めています。

町長 本年5月10日オホーツク大空町観光協会をはじめ、さまざまな立場の方で構成した大空町体験型観光誘客促進実行委員会を立ち上げ、大空町の自然資源、網走湖や藻琴山を活用した四季を通じた体験型観光の誘客を図っていく新たな動きが始まったところで、私も行政の役割は地域にある素材を有機的な連携のもと、新たな観光資源と変えていく仕組みづくり、地域への経済発展強化、波及効果の仕組みをつくり出していくことが重要ではないかと考えています。空港からそれぞれのファイルドまでアクセスが近接している本町の地の利を生かし、網走湖でのスタンダードアップパドルボート体験や冬季間のアイスフィッシング、結氷した網走

一口メモ アドベンチャートラベルとは
 アクティビティ、自然、異文化体験の3要素のうち、2つ以上を含む旅行形態。
 旅行者一人当たりの消費額や経済波及効果が大きく、需要拡大が期待できる観光分野として注目を集めている。

湖や雪原でのスノーシュー、トレッキングなどを試験的に実施しており、本年度も民間事業者と連携し推進してまいります。オホーツクの空の玄関口であり、女満別空港を有する本町としての優位性を十分に発揮し、大空町をしっかりとPRし、新たな観光客の誘致と交流人口、関係人口の創出につなげてまいりたいと考えています。

しょうらい みす まちの将来を見据えて

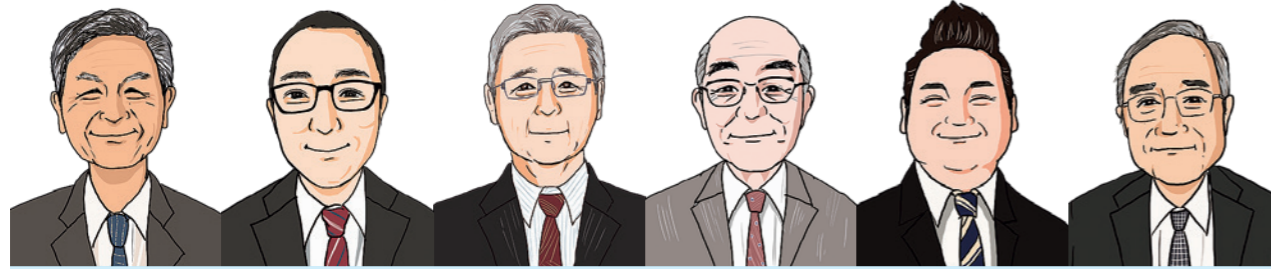
～総務厚生・産業建設文教 両常任委員会で「所管

CHECK 議会でチェック! 事務調査」を実施しました～

7月19日に産業建設文教常任委員会、8月7日に総務厚生常任委員会が、それぞれ所管する事務の中から今チェックすべき施設等を調査しました。その内容について、主なものをお知らせいたします。

Q 所管事務調査とは？ 議会が自主的に常任委員会で所管する事務を取り上げ、積極的に調査するもの。委員の認識や理解を深め、専門的審査を高めるために行います。

総務厚生常任委員会



鈴木委員 上地委員 三條委員長 岩原副委員長 大泉委員 原本議長



大空町障がい者福祉センターちあふる

①大空町障がい者福祉センターちあふるの施設全般の状況について

- ・令和4年度決算状況は計画通り達成したが、職員が不足していることが課題となっていると説明を受けた。
- ・障害福祉サービス等事業では利用増、就労継続支援B型ではケラケラの弁当作業での就労工賃の増加があったと説明を受けた。
- ・施設の雨漏りについて現地にて説明を受け、来年度に向けて予算計上すべく調査をしていることを確認した。



一般廃棄物広域中間処理施設建設予定地

②一般廃棄物広域中間処理施設整備予定について

- ・計画している施設建設については、敷地面積は問題ないという説明を受けた。
- ・候補地が上がってくるまでの道が急勾配であり、道路整備が必要であると説明を受けた。
- ・これから広域で作成される計画を、議会として、進捗をしっかりと見守っていききたい。



豊里公民館

③施設の状況について（大東公民館・豊里公民館）

- ・大東公民館について、床下の湿潤による根太の腐食・床の沈み込みを確認し、建替え計画の前倒しを予定していると説明を受けた。
- ・今後新しくなる公民館の規模については、昨年建築された住吉公民館が基準となることを確認した。

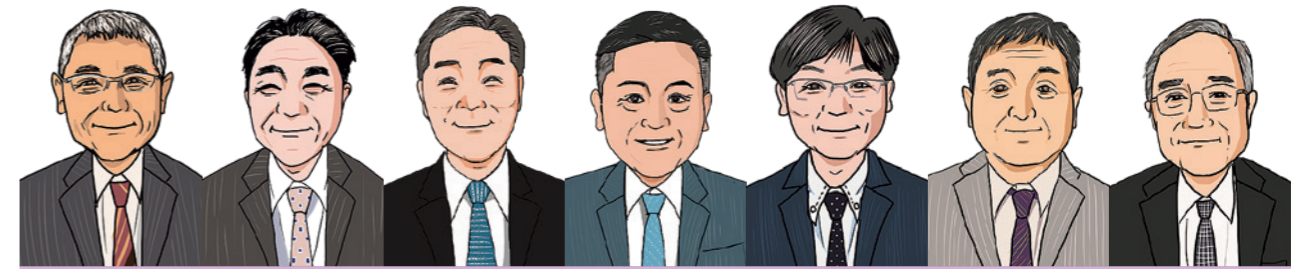


住吉ふれあい農園

④住吉ふれあい農園の状況について

- ・果樹園エリア（ハスカップ・ブルーベリー）と農園エリア（いなきび・行者ニンニク・そば）について、現地視察・説明を受けた。
- ・いなきびを選定した理由は、網走監獄で受刑者が過去におやつとして食べていたいなきび餅を再現し、網走監獄博物館にてイベントを行い、受けが良かったことから、いなきびを使った製品開発に協力いただけないかと提案されたためであると説明を受けた。

産業建設文教常任委員会



森賀委員 齋藤委員 松岡委員 後藤委員長 川村副委員長 福田委員 原本議長



畑地灌漑事業 多目的給水栓

①畑地灌漑事業 多目的給水栓（共同利用施設）の利用状況及び漏水事故の対応について

- ・近年、畑地灌漑施設の漏水事故が頻繁に発生しているが、FRPの管路継手部分の老朽化が原因であるとの説明を受けた。
- ・漏水事故からの復旧には2～4週間ほどの時間を要するため、地域と連携しながら漏水時には近隣受益者の給水栓を使用する等の検討をしていくことが確認できた。



設置されている熊の箱ワナ

②熊の箱ワナの状況等について

- ・箱ワナは、住民の熊の目撃情報をもとに設置し、女満別地区3台・東藻琴地区5台の計8台保有しているとの説明を受けた。
- ・ヒグマの出没状況（令和5年7月現在）は女満別地区4件、東藻琴地区20件の計24件の状況説明を受けた。



旧東藻琴高校寮（緑友寮）

③旧東藻琴高校寮の状況等について

- ・緑友寮の①区域、昭和43年築（築55年）②区域、昭和58年増築部分（築40年）③区域、昭和60年増築部分（築38年）の3区域それぞれを確認した。
- ・交流拠点施設と同様の体制を行うための施設改修を検討、改修に係る積算を依頼中との説明を受けた。



東藻琴芝桜公園（ドリームハウス）

④芝桜公園の施設全般の状況等について

- ・芝桜公園は、昭和52年に開園後46年が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、単に大規模な施設改修を行うだけではなく、現状の課題解決および将来の方向性の構想を練るため、芝桜公園大規模改修基本構想作成委託のスケジュールの説明を受けた。
- ・今後も効果的な誘客促進事業を行い、芝桜公園の魅力化を図っていくことが確認できた。

Voice 町民の声



町で「歩く/走る」を広めたい

かね こ きみ こ さん
金 子 公 子 さん
(女満別UMC(ウルトラマラソンクラブ))

関東から移住して4年、趣味のランニングのおかげで知り合いが沢山できました。

大空町は自然豊かで気持ちよく走れる場所が豊富ですが、車社会のせい、町を散歩する人はとても少ないと感じています。

ランニングは「速い人がスゴイ」という価値観がハードルを上げがちですが、歩く/走るとは一番簡単に誰でもできる運動で、健康寿命の向上やうつ病など精神

疾患にも効果的なことが知られています。

そこで超高齢化社会へ向けて、競わず楽しく「歩く/走る」を後押しするものがあったら良いと思います。例えば町内ウォーキングマップの作成、歩数のポイント付与やスタンプラリー、歩くスキーコースの整備など。

能力を競うもの、観光客を対象にしたものだけでなく、これから増加するシニア世代が日常的に運動を取り入れ、町全体の活性化に繋がると良いと思います。

なつかしの校舎



女満別 本郷小学校

本郷小学校は、明治35年に西女満別原野15線に地域の独自の学校として誕生。校舎は、掘立草葺で、総建坪は10坪のこじんまりしたもので新築に要した経費は、すべて地域住民が負担し、学校名は、「礼文尻小学校」と呼ばれていました。

教師は、開拓に従事して間もない鈴木惣四郎氏の夫人タケ子さんが無報酬で男子5名女子3名の指導にあたって記録されています。

明治38年網走村大曲尋常小学校所属分教所として正式認可され、明治40年女満別教育所として独立校に昇校しました。大正8年に西女満別尋常小学校、昭和11年町内の字名改正に伴い本郷尋常小学校と校名を改称し、昭和16年本郷国民学校、昭和22年本郷小学校となりました。

昭和初期には、児童数が100名を超えた時期もありましたが、昭和39年、校舎の老朽化による改築問題や設備充実等の関係から、女満別小学校へ統合になりました。

昭和41年には、校舎跡地に女満別最初の小学校の証として「教育発祥の地」の碑が建立されています。卒業児童数は、715名でした。
(参考文献 女満別町史、女満別小学校の歩み80年・統合20周年記念誌)



田舎ノ隠れ家

inaka no kakurega

- NAKAHACHI -



〒099-3244

網走郡大空町東藻琴 141 番地
TEL 0152-67-5008 携帯 090-2698-1422

※民間事業者からの有料広告を掲載しています。

編集後記

夏祭りや各種イベントが再開され、笑顔広がる熱気は大歓迎です。しかし、急激な気候変動をもたらす地球の温暖化を超える高温化は、遠慮したいものではない。高温化防止のためにも、戦いの平和な世界への道のりは遠いのか。歩み出せないもどかしさを感じた暑い夏が過ぎていきます。

今回、議員の似顔絵を掲載しました。製作費は各自負担で北見市の似顔絵師ATSUMIさんに依頼し誕生しました。親しみある誌面作りに向けた挑戦の第一歩です。

皆様からのご意見、ご要望をお待ちします。
(鈴木)

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

議長 原本哲己(発行責任者)
委員 鈴木秀之
副委員長 上地史隆
委員 森賀祐司
委員 福田淳一
委員 大泉知功

今後ともよろしくお願いたします。



本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

議会だより「おおぞら」
第69号

発行/大空町議会
編集/議会広報常任委員会
印刷/株式会社須田製版

住所/〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号
TEL(0152)74-2111 FAX(0152)74-2191
ホームページ http://www.town.ozora.hokkaido.jp

